

おもてなしの一品



3時のおやつ時や仕事や勉強で
疲れた時に甘いスイーツ。一息
つきたい時にスツと出されたら、
それだけでうれしくなりますよね。
ぜんざいや団子などの和菓子、
ケーキやプリンなどの洋菓子。一
口にスイーツといっても、そのバ
リエーションは豊富。来客をもて
なしたり、手土産にしたり、自分
へのご褒美にしたりと登場シー
ンもさまざま。また地方の観光資源
としても活用され、全国津々浦々
のご当地オリジナルスイーツも
日々誕生しています。

ところで、益城町発祥のスイ
ツがあるのはご存じですか？ そ
う「市だご」です。上品な甘さとも
ちの食感が人気で、約2

00年前に誕生しまし
た。毎年3月初めの

土日に木山横町通

りで行われてい

る木山初市で、

現在も販売さ

れている昔な

がらのスイー

ツですが、そ

の人気は現役

2日間で約3、

600パックが

完売するほどです。

ふるさと益城町 | 銘菓 | 市だご

春の訪れを肌で感じる木山初市 —

毎年3月の初めに木山横町通り一帯を歩行者天国にして、木山初市は行われています。外はまだまだ肌寒い季節ですが、初市の開催日はわたがしやりんご飴、焼き鳥やイカ焼きなどの出店がずらりと並び、市だごから上がる湯気のように熱気に覆われます。特設のイベントステージも設けられ、通り行く人たちも次々と足を止め、カラオケやダンス、漫才を楽しみます。

春の季節を感じることができるイベントで、益城町の一大イベントの一つに数えられます。

①市だご販売所の風景。中には市だごだけを買に来る人も。公民館さやま座の前では、商工会女性部が作ったできたてほっかほかの市だごを購入できます。②蒸かし上がった中身の「だご」。もち米の湯気といい匂いが周囲に広がり、食欲を掻き立てます。③丸めた「だご」にあんこをまぶしてパック詰め。④毎年、販売所は「市だご」を買い求めるお客さんで長蛇の列ができます。

